

やまだの風

令和2年 7月25日
第50号
山田校区コミュニティ
運営協議会
会長 中村重夫
282-5767

総会 書面議決 全て承認されました

山田校区コミュニティ運営協議会の令和2年度の総会は新型コロナウイルス感染症予防対策で自粛要請のため(書面議決)となりましたが、提案いたしました1号〜5号議案まで、全て承認されました。代議員の皆様ご協力ありがとうございました。山田校区コミュニティ運営協議会も6月から各部会活動を開始いたしました。



会長 中村重夫

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、何かと不自由とご苦勞されていることとお察しいたします。

さて、令和2年度の山田校区コミュニティ活動も新型コロナウイルスと付き合い乍らの活動となり、山田校区の総会も初めての「書類による承認方式」にて執り行い、代議員各位のご理解とご協力で無事終了することが出来ましたことを、心より御

礼申しあげます。

6月よりコミュニティ活動を「安全安心部会」「元気はつらつ部会」「環境アデザイン部会」「総務広報部会」の4部会で役員及び部会員さんを含め総勢38人で開始しますが、各種行事におきまして、新型コロナウイルス感染防止策(マスク着用や3密防止策など)を行政から指導を得乍らの展開となり参加者に多々ご迷惑やご苦勞お掛けしたり、場合によっては、行事活動を中止することも十分予想されます。早め早めのご案内をいたしますのでご理解とご協力をよろしくお願ひ申しあげます。



山田校区コミュニティ役員・幹事

不審者事案が多発 懸念!

昨春秋以降、不審者事案が多発しましたので、特に今年は、育成会との連携を強化し、地域・PTA・行政が一体となり「地域の宝である児童生徒の安全・安心」がより確保出来るよう取り組みます。

また、令和3年度4年度の役員(案)を「役員選考委員会」で取り纏めて、総会に提案することになります。令和3年1月に「役員選考委員会」の設立となりますので、各自治区長さん

及び関係者にはご苦勞をお掛けすることになります。ご協力程よろしくお願ひします。

「やまだの風」記念の50号発行

山田コミュニティの機関紙「やまだの風」はおかげさまで記念の50号を発行することになりました。「情報を山田校区内の隅々まで吹き渡らせよう」を合言葉に初代会長(故)小畑節治氏(南高陽区)、元会長吉田清人氏(鍋田区)、前会長永瀧静雄氏(緑ヶ丘区)と引き継がれ、平成29年、第43号よりカラー化と様変わりし、現在に至っております。これからも皆様に愛読されますようコミュニティの活動を中心とした情報を発信していきます。尚、2面3面に役員・幹事・各部会員の顔写真を掲載しました。



マスクを着用しての役員会議

岡垣第一幼稚園



TEL 282-0235



http://www.okagaki-daiichi.com

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

4役・幹事



幹事
貞平 憲子



幹事
山本 一太



会計
松井 義廣



事務局長
友廣 輝好



副会長
田中 正人



会長
中村 重夫



部会員
山内 静子



副部長
國濱 勇夫



部長
西 美千代

今年度の活動は、新型コロナウイルス感染症予防の影響で学校の再開が何度か延期されましたが、朝のあいさつ運動を、山田小は1日、東中は15日に行いました。子どもたちの元気な声と笑顔に会えました。青パトによる防犯パトロールは毎週月曜日に、自治区とPTAに協力をいただき校区内を巡回しています。今年度は新たに小・中学校の通路の点検パトロールを行う予定です。

安全・安心部会



部会員
吉武 恒男



部会員
大庭 正弘



部会員
石田 友子



部会員
森 栄一郎



部会員
竹井 正信



部会員
草場 新



副部長
宮崎 貴美代



部長
小松 勝昭

元気はつらつ部会
元気はつらつ部会員は14名で活動を行っています。今年度の活動状況は新型コロナウイルス感染症予防対策で予測の難しい状況下にあります。10月に行われます「ふれあい健康ウォーキング」11月に予定されている「山田小ふれあい祭り」1月に行います「どんど焼き・もちつき」が主な行事です。このいずれもが長期間の準備と多くの人手がかかりますが、皆様方の協力を頂いて、開催の方向で準備を行っていきます。



部会員
藤本 政勝



部会員
嶋田 正幸



部会員
木下 恵介



部会員
中葉 允雄



部会員
永淵 静雄



部会員
旗生 公典



部会員
高村 三枝子



部会員
西谷 里二



部会員
田中 幸子



部会員
浦本 寿満子



部会員
小林 範重



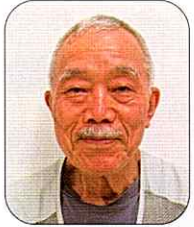
部会員
猪立山 均



部会員
松丸 和美

環境デザイン部会

今年、環境デザイン部会は9人で活動して行きます。「住みやすい、きれいな町にしよう」を合言葉に、美化活動では、クリーンパトロール(ゴミ拾い)を行っていきます。特に小学校児童の通学時間帯にも行い「ダメーボー捨て」を呼びかけていきます。また「ゴミの分別の大切さをもっと知っていたら」と、糠塚や中間市に有る「リレーセンター」や「リサイクルセンター」の施設見学を実施し、多くの方に参加をしていただき、ゴミの減量化に取り組んでいきます。これらの活動を通じて地域に貢献して行きたいと思っています。



副部長 立野重記



部長 前田與史郎



部会員 和田鎮年



部会員 武智博志



部会員 滝野勝行



部会員 野末敏子



部会員 仁科均



部会員 山本光

令和2年度コミュニティ予算

歳入の部

項目	予算額
繰越金	557,216円
交付金	1,250,940円
補助金	40,000円
育成会分担金	60,000円
雑収入	30,009円
歳入合計	1,938,165円

歳出の部

項目	予算額
安全安心部会	150,000円
元気ハツラツ部会	350,000円
環境デザイン部会	180,000円
総務広報部会	150,000円
事務局費	150,000円
費用弁償(35人)	350,000円
予備費	608,165円
歳出合計	1,938,165円

「やまだの風」も、次の発刊で50号になると聞き、一瞬間が止まるような感じが頭をよぎりました。一昔前の『人生五十年』が、今や『人生百年』といわれても、余り奇異に感じなくなりましたが、それはそれとして『五十』

思い起こせば「お互いが手をとりあい、笑顔で暮らせるまちづくりを目指そう」という基本理念の下に、平成19年5月12日に「山田校区コミュニティ運営協議会」がスタートし、同時に各部会活動も始まりました。私も小畑会長(当時)と

取材で楽しかったのはと聞かれれば「環境デザイン部会」で、「弁償の七つ道具」を身にまとい、毎回のように斬新な糞害防止の



初代編集長 松本威彦さん

やまだの風 50号発刊に当たって 『50』という数字は一つの通過点 意義のあるもの

という数字は、今も昔も変わることなく、一つの通過点として意義のあるものであり、ご同慶に堪えませぬ。

の奇縁で広報に携わることになりました。こうして創刊号が発刊されたのが、平成19年6月10日でした。それから「10年1日の如く」やって来ましたが、みんな涉外面・編集技術面でバックアップして頂いた浅田植吉氏と、女性スタッフ(松本美香・有吉美樹子・福田早苗)のおかげと、今も感謝しています。

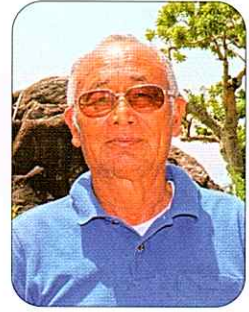
アイディア小道具が飛び出して来るのはびっくりの連続でした。現役時代に新聞社で、それぞれデスクから個人指導を受けたことも、しっかりと頭に入っていましたし、記事を活かすも殺すも「見出し」次第と教えられれば、「見出し」に力を注ぎ・・・

といった具合で「やまだの風」でも、結構役にたったように思います。平成26年サンリーアイで開催された「サンリーアイのメディアアプランナー研修会」でも「やまだの風23号」が「見出し」の教材に取り上げられ、お褒めにあずかったことも思い出しました。

また読者から、3人娘の書いている『編集後記から読んで本文に入るんだよ』といわれた時は嬉しかったですね。終わりに声を大にして「おめでとうござますー！」そして「ありがとうございまして！」

松本威彦さん寄稿ありがとうございました。

趣味多芸



入江 溜さん

今回は糠塚の入江 溜(75)さんを取材させていただきました。入江さんは平成30年3月「山田ふれあい農園」作りで、人間の手では開墾出来ない竹林の藪を大型重機で開墾して下さった方です。

入江さんはこの辺では珍しく「ひつじ」を飼っているのですが飼うきっかけは、自分の家は農家だったので、にわとり、乳牛、馬などを



人懐こい羊 (向こう側にいるのがメリノ種)



毛刈りが終わり涼しくなった羊

飼っていましたが、なぜか羊も1頭いたんですよ、もともとが動物が好きなんです。私もあの世が近くなったので70歳から何か新しい趣味に挑戦しようと思いい「ひつじ」を飼う事にしました。ひつじは牧草地に放牧しとけば、ひつじが牧草を食べてえさやりなどしないうですむと思っていました。まあ楽をしてみたのしめるかなあと思ていました。年々1度、4月から5月にかけて羊の健康面を考慮して羊が病気になるように毛を刈らなければなりませんし、冬場は草がありませんので、干草を準備してやる必要がありますのでそれなりに大変なんです。羊は何頭飼っていますか。

現在5頭です。メリノ種2頭とコリデル種3頭です。

羊を飼う上で難しいことはどんなことですか。

夏場の暑さ対策です。羊の毛を刈ることも熱さ対策の一つですが、九州の暑さは尋常ではないですから、夏場をいかに乗り切るかの工夫に苦勞していますよ。

入江さんは旅行にもよく行かれるそうですが。

私はキャンピングカーを持っていますので、思い立ったらすぐどこへでも出かけて行きまので本当に便利です。

私は観光をかねて毎年9月になると2週間ぐらい北海道に行っています。北海道は9月1日からサケの解禁となります。海岸からサケを釣るのは誰でも許可なく無料で釣ることが出来るのです。それゆえ海岸線は車で10キロも20キロも走っても釣り人が並んで釣っていますよそれはもう壮观なものです。朝は3時ぐらいから釣っている。ぜひ一度見に行かれて下さい。一見の価値はありますよ。

入江さんは釣られないのですか。私も、釣竿を一応持って行く

のですが、釣るのがへただから隣の人の迷惑になりそうですから見ている方が好きです。上手な人はどんな釣りあげます。

知床で福岡から釣りに来た人にも会ったこともありすよ。

その他、印象に残っている場所は。

このキャンピングカーで四国霊場八十八ヶ所を妻と2人で巡ったこともありす。

どのぐらいの期間で廻られるのですか。

全工程を3回に分けて行ききました。1回10日間あったらゆっくり廻れますよ。

入江さんは、珍しい機械を持つているそうですが。

はい、私は若い頃、北海道の特殊農業機械メーカーに勤めていました、そこでトレンチャーに巡りました。「トレンチャー」とは、田んぼの拡張整備で、水はけをよくするため、幅15センチ深さ15センチの溝を高速で掘り、連続でエンジンのパイプを埋め込んでいくマシーン」そのマシンを改良に改良を重ね、当時は日本にも2台しかない高性能のマシンを製作しました。現在も倉庫に保管されているそうです。(入江さんの宝物)



巨大石と巨木で構成されている見事な庭

ところでずいぶん立派なお庭ですね。

庭造りにはあまり興味はなかったのですが、この家を建てる時、妻がお庭を造らなくてはの一言で造ることになりました。

あの山桃の木は樹齢400年ぐらいで高さは6尺、手入れも毎年1回自分でやっています。

石も巨大ですね。石の配列も自分でなされたのですか。

大きいのは45センチぐらいあります、石組は専門の方が行いました。

縁側に腰掛けて、お茶でも飲みながら庭を見ていると癒されますし、心が落ち着いてきます、庭を造っていて本当に良かったなあと、思います妻に感謝です。